

No.13 先端技術活用によるエネルギー基盤研究事業

事業期間：平成29年度～33年度

事業概要

沖縄県における知的・産業クラスターの発展・強化及びエネルギーの課題解決を図るため、産学官連携による先端技術を活用したエネルギー基盤技術に関する共同研究に対して支援を行う。

事業効果

- 共同研究の実施により、本県のエネルギー産業創成に繋がる新たな技術モデルが創出される。
- 本県のエネルギーの課題解決に寄与し、将来的には研究開発拠点の形成や、国内、海外への技術貢献等が期待される。

事業の必要性等

- 本県はエネルギー供給源の大部分を化石燃料(輸入)に依存しているため、世界情勢等の影響を受けやすい脆弱な構造。
- 多くの離島を抱えており、輸送コストが高い、他の電力系統と相互に融通出来ない。
- 地形的及び需要規模の制約により、エネルギー供給源が少ないため、多様化が必要。
- 生活や経済の基盤であるエネルギーの課題解決を図るためには、産学官が連携し、共同研究を着実に実施することにより、未だ確立されていない技術開発に繋がり、本県の科学技術振興及び産業振興に寄与。

